



映像・演劇作品から知る

吉川英治



九州・宮本武蔵顕彰碑前にいる吉川英治(昭和12年)

2025年 1月4日 **土** ▶ 3月30日 **日**

- 【開館時間】 10:00~17:00 (最終入館は16:30まで)
- 【休館日】 毎週月曜日(月曜が祝日の場合は翌平日)
※1月13日・2月24日(月・休)は開館し、1月14日・2月25日(火)は休館
- 【観覧料】 大人500(400)円 / 小・中学生200(150)円
※()内は20名以上団体割引料金 ※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は手帳の提示で無料
※青梅市内の小・中学生は土・日・祝日は無料
- 【年間パスポート】 大人1,400円 / 小・中学生500円

青梅市
吉川英治記念館

Yoshikawa Eiji Memorial Museum

国登録有形文化財 旧吉川英治邸(草堂)



主催：青梅市教育委員会 協力：青梅信用金庫
指定管理者：株式会社フクシ・エンタープライズ

〒198-0064 東京都青梅市柚木町1丁目101-1 TEL 0428-74-9477
<https://ome-yoshikawaeiji.net/>





映像・演劇作品から知る吉川英治

吉川英治の小説を原作に映画や舞台にされた作品は数多く、同じ原作で複数制作されました。大正15(1926)年から新聞掲載の『鳴門秘帖』は連載中から映画化され、その後、舞台化・テレビドラマ化されています。『新・平家物語』も前進座で舞台化の後、映画やドラマ化され、人形劇にもなりました。また、吉川英治自身が脚本を書いた舞台もあります。

本展では、これらの作品にスポットを当て、関連資料を展示します。映画・ドラマ・演劇などのメディアで異なる吉川英治作品の表現を御覧いただき、エンターテインメント性をお楽しみください。



『鳴門秘帖』関連資料



『新・平家物語』関連資料



主な映像作品



『私本太平記』昭和33(1958)年1月 毎日新聞連載第1回(切抜)



『私本太平記』関連資料

【期間中のイベント】

◆11月9日(土)～1月19日(日)

『青梅市吉川英治記念館 SNSフォトコンテスト秋冬』

季節をテーマに、記念館内で撮影された写真を募集しています。SNSにてご応募ください。

◆1月4日(土)～1月19日(日)

『青梅市吉川英治記念館 2025二十歳のお祝い企画』

二十歳を迎えた方と、お付き添いの方は期間中無料でご入館いただけます。また、対象の方に限定ポストカード(非売品)をお配りします。

◆1月4日(土)～1月19日(日)

『青梅市吉川英治記念館 初もうで2025』

期間中は下記の企画を予定しています。

- ①当館ホームページに掲載されるお年賀ギフトカードをご提示いただくと、割引料金でご入館いただけます。
- ②ご来館された皆様に、限定ポストカード(非売品)をプレゼントいたします。
- ③その他、数量限定の特典もご用意しています。

◆2月15日(土)～3月20日(木・祝)

『吉川英治記念館と文化財住宅のひな人形展』

3月3日のひな祭りに合わせ、当館と市内文化財住宅にひな人形などを展示します。

◆3月16日(日) 14:00～14:30 ※事前申込制

『～講師 菊地玉雲の講談の世界～

新・平家物語 第九話「みちのくの巻」』

青梅シルバーマイスターである講師 菊地玉雲氏が、吉川英治の不朽の名作を語ります。

各イベントの詳細や変更等はホームページでお知らせします。
当館ホームページ <https://ome-yoshikawaeiji.net/>



東京青梅

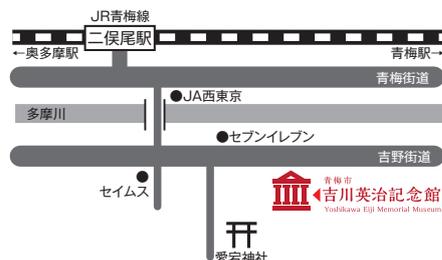
梅まつり

2025 吉野梅郷

2月15日(土)～3月20日(木・祝)

- 期間中、当館でも紅梅苑の銘菓「紅梅饅頭」を数量限定で販売いたします。
- 期間中、吉野梅郷商店会主催のスタンプラリーを開催。当館売店ほか、対象店でスタンプを集めていただくと、紅梅苑にて景品と交換できます。(お問合せ: 紅梅苑 0428-76-1881)
- 館内の梅の木は2月下旬～3月が見頃です。周辺の吉野梅郷地区では、梅の公園周辺をはじめ、様々な催し物が開催されます。

交通案内



- ・JR青梅線「二俣尾駅」下車徒歩約15分
- ・JR青梅線「青梅駅」下車→都営バス梅76系統「吉野行」乗車→「柚木」停留所下車徒歩約1分